松浦にまちづくり会社を作ろう

寶家を活かした観光まちづくり構想

2022年5月吉日

NPO法人 ユニグラウンド

目次

第1章 100年旅館 寶家を活かしたまちづくり会社設立の提案

1-1　はじめに 1
1-2　松浦を含む長崎の魅力 2
1-3　問題解決に向けた連携の必要性 3
1-4　寶家を活かしたまちづくり会社設立の提案 4
1-5　まちづくり会社の中心として協力を仰ぎたい企業・団体例 5

第2章 100年の歴史を紡ぐ寶家の活用例

2-1　まちづくり会社の事務所として活用 6
2-2　松浦を含めた長崎の魅力発信基地として活用 7
2-3　地域住民や観光客のコミュニティースペースとして活用 8

目次

第3章 今後の展望と全国との連携

3-1　長崎全土を繋ぐ交通シェアシステムの導入 9
3-2　旧街道・道の駅・直売所を活用し九州全土へ事業展開 10
3-3　全国のまちづくり会社との連携 11

第1章
100年旅館 寶家を活かした
まちづくり会社設立の提案

1-1 はじめに

人口減少・少子高齢化がますます深刻になり、経済が低迷している今、観光は雇用や企業の創出・社会基盤の開発などを通じて経済の発展を牽引する重要な役割を担っています。

また、その効果は経済のみならず、地域の歴史や文化に触れ、学び、多様な価値を得て視野を拡げていく、教育にも繋がっています。

私たちは行政・企業・そして、商店街や地域住民の皆様の力を借りながら、まちづくり会社を設立し、100年間沢山の笑顔と思い出を紡いできた寶家旅館を観光の拠点へと再建して行きたいと考えています。

1-2 松浦を含めた長崎の魅力

風光明媚な971もの離島

アジフライの聖地 松浦

伊万里焼・波佐見焼

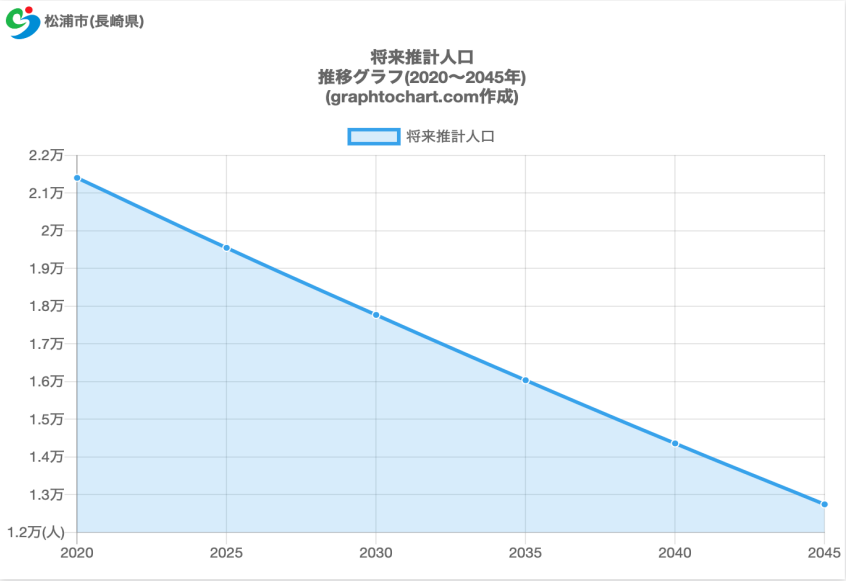
国宝 大浦天主堂

松浦党の里 ほんなもん体験

長崎県松浦市は、歴史・文化・自然や水産資源・グルメなど多岐に亘る魅力的な観光資源が数多く

豊かな自然を活かしたイベントや、歴史・伝統があり知名度も高い祭りも 開催されている

1-3 問題解決に向けた連携の必要性



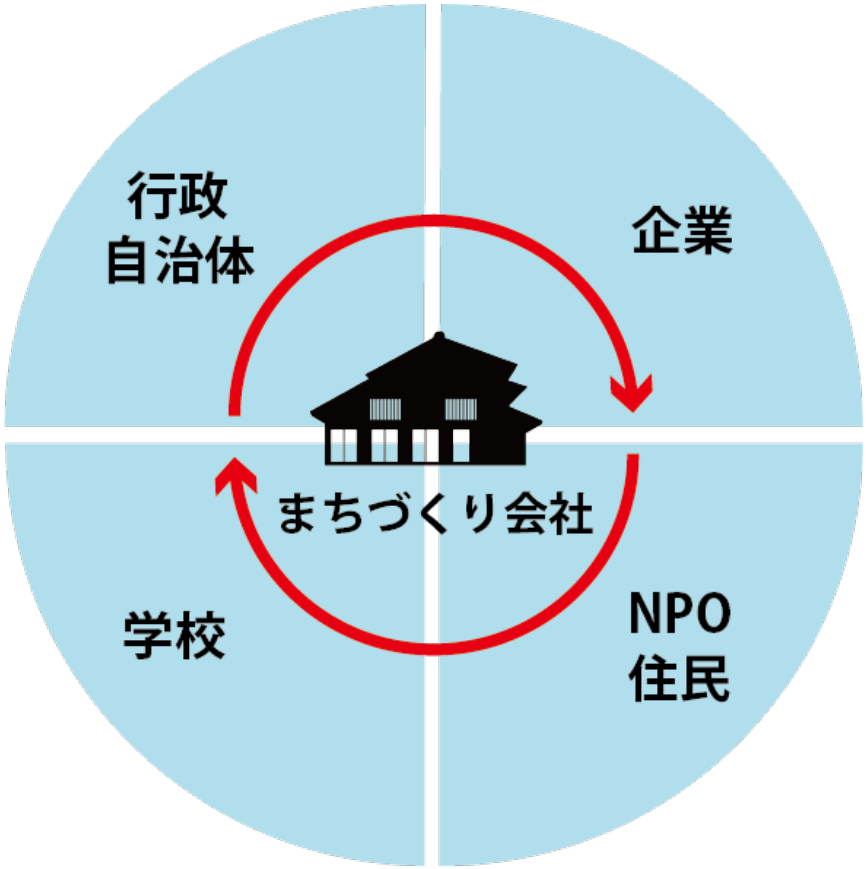
人口減少

商店街の衰退

松浦市基本構想の基本理念である「育つ・つながる・根を下ろす」を実現し、人口減少・商店街の空き店舗増加などの問題を解決し、松浦を含めた長崎の魅力を最大限活かしていくためには

行政・企業・教育の垣根を超え連携し、寶家を活かしたまちづくり会社を設立し新たなコンテンツを生み出していく必要がある。

1-4 寶家を活かしたまちづくり会社設立の提案



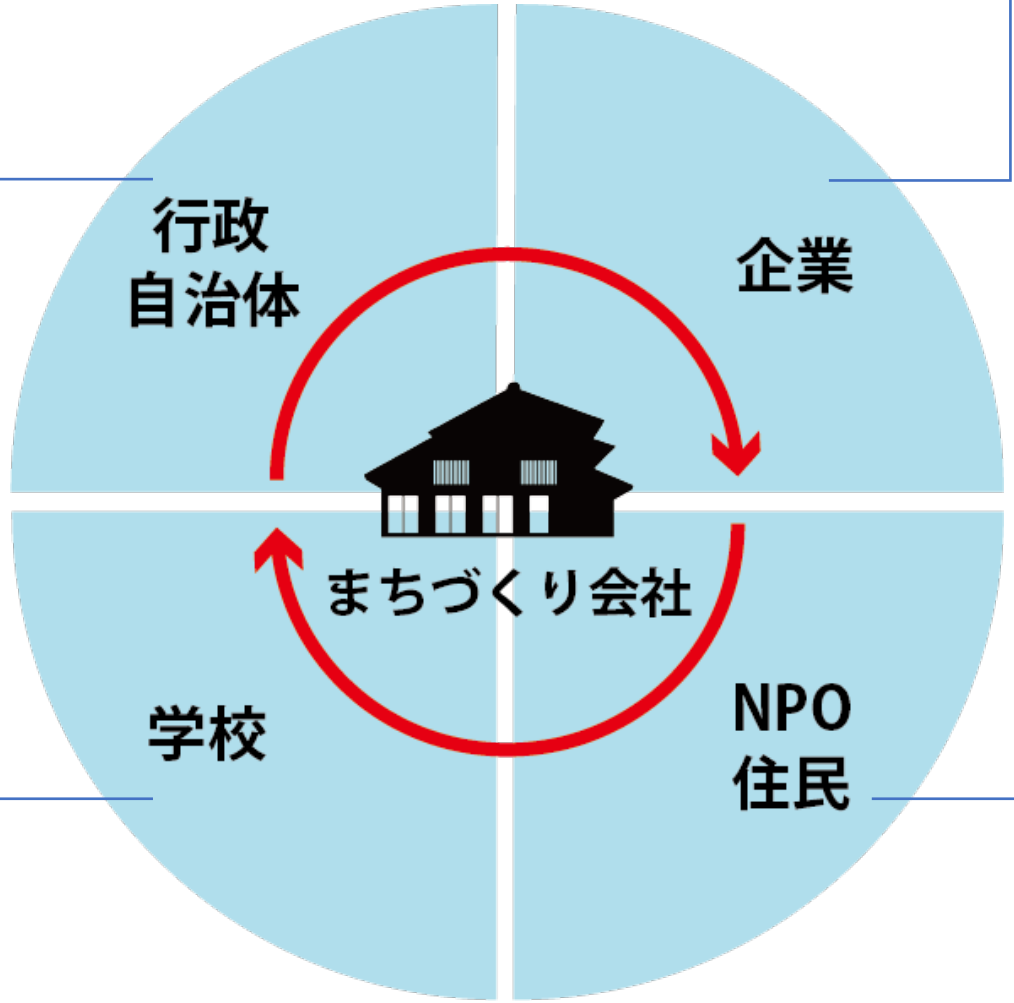
人が集まり賑わいのある松浦市を実現していくためには行政・企業・教育の垣根を超え

官民産学連携し技術力を高め、新たな製品・サービスを生み出していく事が必須である。

まちづくり会社を中心とし、各主体同士が連携してまちづくりを行なっていく。

1-5 まちづくり会社の中心として協力を仰ぎたい企業・団体例

- 長崎県
- 松浦市



- 長崎旅ネット
- 五次産業汽船（株）
- ジャパネットたかた
- リンガーハット
- 西田整備
- 松浦鉄道など

- 長崎大学をはじめ地域と連携した取り組みを行なっている学校など

- 一般社団法人 古民家再生協会
- 一般社団法人 松浦党交流会公社
- 松浦市民の方々
- 長崎にゆかりのある著名人など

第2章
100年の歴史を紡ぐ
寶家の活用例

2-1 まちづくり会社の事務所として活用

（活用例）

様々な団体・企業が集まり、技術やサービスの
向上ができるまちづくり会社の事務所として活用

新たなサービス独自の商品を生み出す
商品開発ラボとして活用

様々な団体・企業が集まり、新たな商品やサービスを生み出す
まちづくり会社の事務所として活用する

2-2 松浦を含めた長崎の魅力発信基地として活用

（活用例）

動画配信や放送を通して地域の情報などを
全国に向けて発信できる場として活用

松浦を含めた長崎独自の歴史・文化・
商品を発信する場として活用

観光の拠点として、松浦を含めた長崎の魅力を全国に発信する
魅力発信基地として活用する

2-3 地域住民や観光客のコミュニティースペースとして活用する

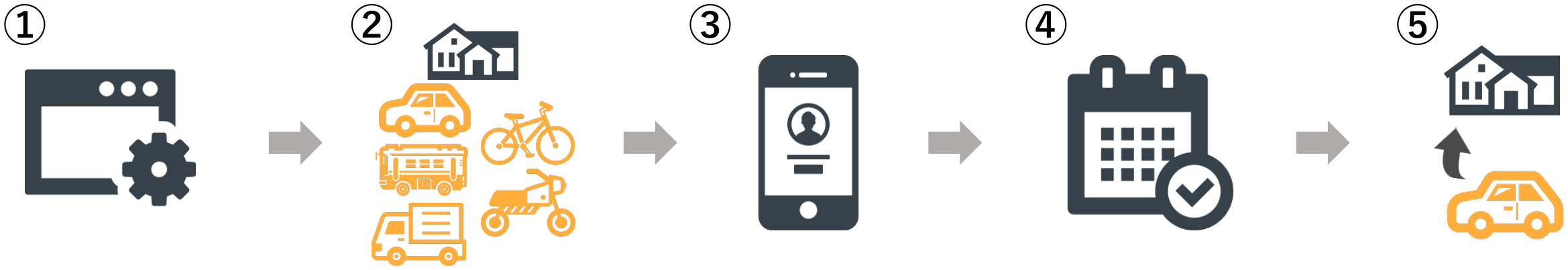
フリースクールや放課後保育など
子どもたちの居場所として活用

地元住民や観光客のコミュニティー
スペースとして活用

地域住民や観客の憩いの場・困りごとサポートができる
コミュニティースペースとして活用

第3章
今後の展望と全国との連携

3-1 長崎全土を繋ぐ交通シェアシステムの導入



① 交通シェアアプリを開発。

② 各道の駅に交通シェア用の、自転車・車・トラック・バイク・バスを置いて、QRコードをつけアプリと連動。

③ スマホアプリでQRコードを読み取ると各道の駅に置いてある、乗り物のシェアが可能になる。

④ 乗り物は1台につき最大1ヶ月利用可能。

⑤ 返却は、近くにある道の駅、その他提携している交通関係の企業・団体・お店で可能。

※長崎全土での交通シェアシステム導入までパーク周辺とその他特定の地域で約１年間のテスト期間を設ける。

3-2 旧街道・道の駅・直売所を活用し九州全土へ事業展開

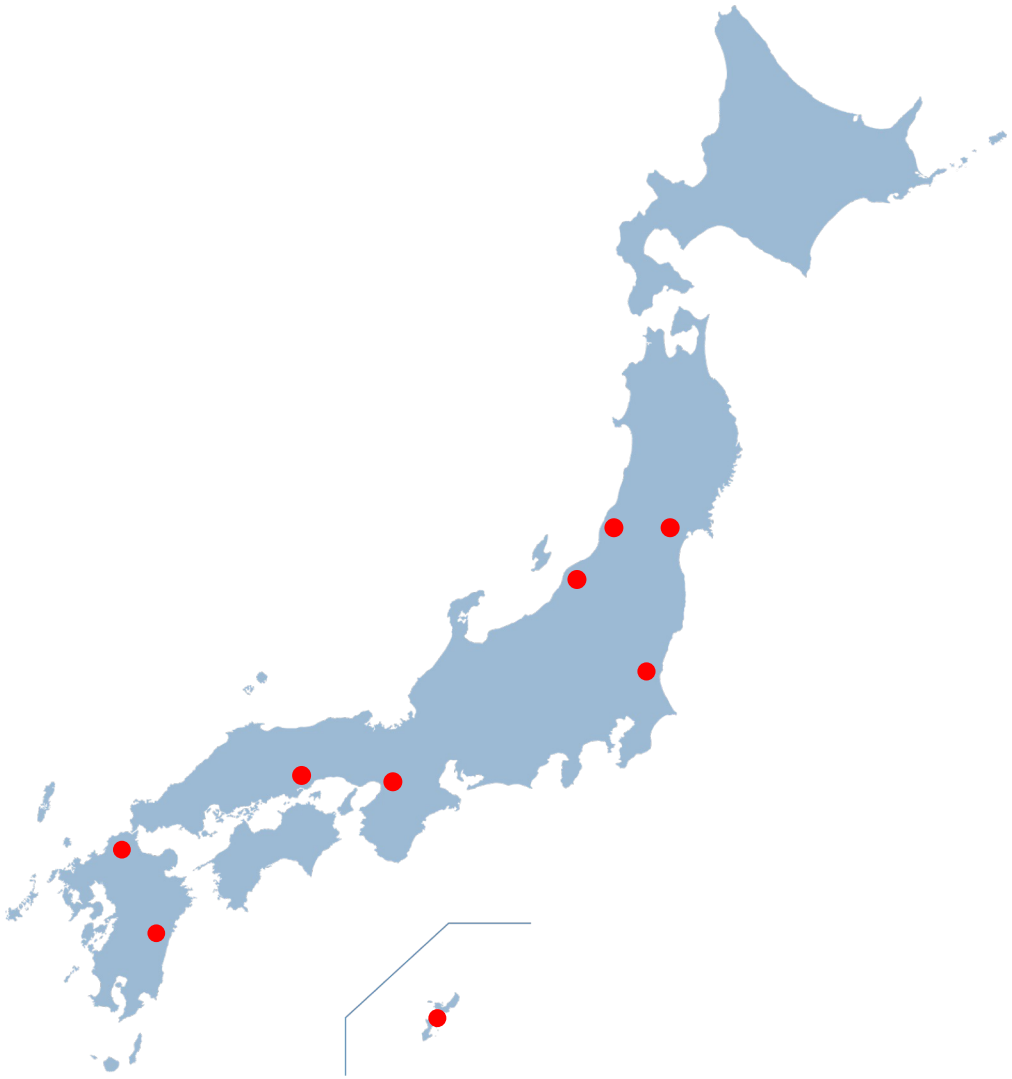
- 長崎の歴史ある旧街道、長崎街道（シュガーロード）・唐津街道・平戸街道沿いの空き家や遊閑地を新たな観光資源として活用し、九州全土へ事業展開していく。

- 旧街道沿いの道の駅・直売所をつなげ、交通アクセスの利便性を高め、更なる観光客増加を図る。

- ジャパカルとのコラボイベントを開催し、海外からの観光客増加を図る。

※ジャパカル・・・ジャパニーズカルチャーの略。歌舞伎・書道・アニメ・ゲーム・漫画などの日本を文化を指す。

3-3 全国のまちづくり会社との連携



私たちNPO法人ユニグラウンドは全国にまちづくりを行なっている仲間がおり、それぞれの県の特徴を活かした、まちづくり会社設立を計画している。

全国のまちづくり会社と連携して、情報共有をしながら人の交流を促進し地域活性化を図っていく。